



「真田一族と加古川」



現在、NHK大河ドラマで人気を博している「真田丸」。舞台は信州・甲州が主で、今回はこの加古川は縁遠いと思いませんか？

2年前の「軍師 官兵衛」ではあまり印象がなかったかもしれませんが、後藤又兵衛基次を覚えていらっしゃるでしょうか？歴史上では、黒田官兵衛より有名なところがあります。生まれは加西郡山下村（現加西市山下町）といわ

れています。母は、加古川の神吉頼氏女といわれています。又兵衛の妹は、加古川の神吉城に嫁いでいます。そのことから加古川と縁深い人物です。黒田孝高に引き取られて育てられます。黒田家の中で勇猛果敢な働きぶりで、黒田二十四騎、黒田八虎と呼ばれる存在でした。特に第二次晋州城攻防戦では亀甲車なる装甲車を使って城壁を突き崩し、加藤清正配下の森本一久らと一番乗りを競い、また関ヶ原の戦いの戦功により、九州に大隈城1万6千石の領地を得ることになります。

むすめ



しかし、官兵衛の息子黒田長政と折り合いが悪く、黒田家を出奔、長らく浪人の境遇に甘んじることになります。その後、豊臣秀頼の誘いで大坂城に入城します。その後、世にいう大坂冬の陣・夏の陣がおこります。そのクライマックスで有名な真田信繁（幸村）の家康総決死攻撃が展開されます。しかし、又兵衛は小松山（大阪府柏原市玉手町）で信繁に先んじて鬼籍に旅立つことになります。

ぶらり加古川 第 38 号

平成 28 年 10 月